

## 入院治療についてのご案内

●●● 病棟での治療と退院にむけた医療スタッフの支援について ●●●

当院は、精神科での医療やケアを必要として入院された患者さんに質の良い医療・ケアを提供するため、入院から退院までの道筋（pathway:パス）の目安を設定し、3カ月以内での退院に取り組んでいます。入院病棟では、看護スタッフが中心になり療養生活の手助け、生活リズムの立て直しを支援します。また、十分な休息をとり体調が回復した後は、健康的な生活を維持していただくための学習プログラムに参加して頂き、多職種チームで退院の準備を支援します。

### ●新規入院の受入れ病棟の区分

病棟	入院先を選定する際の当院の基準
4病棟 (4階)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入院期間：3カ月以内での退院が見込まれる</li> <li>●精神科病院への入院                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①入院は初めて（外来受診やデイケア利用のみ）</li> <li>②過去に入院したことがあるが、3カ月以上は通院治療で経過していた</li> </ul> </li> </ul>
3病棟 (3階)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入院時の様子：混乱や興奮がおさまらず保護的環境（行動の制限）が必要</li> <li>●入院期間：長期化（3カ月以上～半年程度）が予測される</li> <li>●精神科病院への入院歴：前回退院から3カ月未満での再入院</li> </ul>
2病棟 (2階)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入院時の様子：入院の必要性を理解している・入院を希望している</li> <li>●入院期間：長期化（3カ月以上～半年程度）が予測される</li> <li>●精神科病院への入院歴：前回退院から3カ月未満での再入院</li> </ul>

### ●入院治療パス（入院から退院までの道筋の目安）の種類と適用

**【急性期治療パス】**（4病棟・3病棟での入院） 予定入院期間：2ヶ月～3ヶ月

- \*適用：著しい混乱や興奮、心身の状態の悪化、精神的に不安定で自他を傷つける心配があるため、保護的環境（医師の判断での行動の制限を伴う）での治療を必要としている方
- \*主な治療・ケア：療養生活の支援・見守り、薬物療法・作業療法・学習プログラム  
医療スタッフとの対話を通じたコミュニケーションスキルの強化、退院後の生活の立て直し

**【ストレス・マネジメントパス】**（4病棟・2病棟での入院） 予定入院期間：1ヶ月以上～3ヶ月以内

- \*適用：日々の生活は自分自身で行い、服薬の自己管理できるが、疲労や対人ストレスなどで不眠や抑うつ状態となり、生活の立て直しやストレスとの付き合い方を学習する目的で入院を希望している方
- \*主な治療・ケア：休息の確保と生活リズムの改善、薬物療法・作業療法・認知行動療法  
医療スタッフとの対話による自己洞察の支援、退院後の生活を視野においたセルフマネジメント（自分の生活・体調を管理する力）の強化

## 【休息パス】 予定入院期間：2～3週間（1カ月以内）

\* 適用：単身生活での疲労や不調を解消するため短期間の入院を希望する方

高熱や嘔吐などで食事や水分が取れなくなり点滴等での身体管理が必要になった方

- なかなか症状が改善しない、退院先を決めるのに時間がかかる等の理由で入院期間が3ヶ月を超える場合は、主治医、担当の看護スタッフや精神保健福祉士（PSW）等の関係者がケア会議を開催し、入院されている患者さんやご家族と一緒に治療目標や予定期間を再検討していきます。

治療段階	急性期治療	ストレス・マネジメント	休息
休息期 (急性期)	<b>【混乱期】</b> （数日～1週間） <u>セルフケア全介助</u> * 休息と安全の確保（個室利用） * 食事・整容等の支援	（3日～1週間） 休息 * 病棟内で過ごし休息を確保 * 生活リズムを整える	（1週目）  休息
	多職種医療チームでのカンファレンス（入院後1週間以内に開催） * 入院の経緯と治療方針の確認		
回復期	<b>【消耗期】</b> （2週間前後） <u>セルフケア部分介助</u> * 休息の支援（一般病室） * 療養生活の見守り・声かけ * OT導入	（2週目～3週目） <u>活動拡大・セルフケアの支持</u> * OT導入 * 学習プログラムの導入 * 1Fフロアの利用	（2～3週目）  <u>退院準備</u> （外出・外泊）
	多職種医療チームでのカンファレンス退院準備の評価（入院60日を目安に開催） ※残り30日で退院可能か、退院までに取り組む課題を検討		
退院準備期	（2～4週間） <u>セルフケアの強化・振り返りの支援</u> * 外泊訓練 * 服薬自己管理（1週間分） （注射でのコントロールについての紹介）	（2～4週間） <u>振り返りの支援</u> * 自宅での過ごし方の工夫 * ストレスへの対処方法の開拓	（退院）

\* セルフケア：自分自身の健康の維持や増進のために行うケア・日々の活動

### ● 退院準備の評価カンファレンスで『残り30日での退院が難しい』と判断した場合

4病棟（急性期治療病棟）に入院している場合は、2病棟や3病棟に移って入院治療を継続するかどうかを主治医や担当スタッフで話し合い、75日を過ぎても退院も目途が立たない場合は、入院を継続する病棟を調整させていただきます。

### ● 退院後の通院継続や生活維持で医療スタッフのサポートが必要だと判断した場合

病棟の看護スタッフや担当PSWが外来やデイケアなどのスタッフと話し合い（地域移行支援カンファレンス）ます。ご本人やご家族の意見をお聴きしながら、退院後の支援体制について、病棟と外来の看護スタッフ、作業療法士やPSWと一緒に考えます。

## 【 作業療法・リハビリテーションプログラム 】

当院では、消耗したエネルギーが回復した時期からは生活リズムを整えることなどを目的にプログラムに参加することを推奨しています。 月毎のプログラム一覧が掲示されますので、退院後も健康的な生活を維持するために、担当スタッフと相談しながら、ご自身にあったプログラムを選び、ご利用ください。

また、1Fフロアにある多目的ルームやOT室は、集団の場が苦手な方や、静かな環境での活動を希望する方に対応するために整備しています。 利用してみたい方は、病棟の看護スタッフや作業療法士に相談してください。

	利用する会場	主なプログラム・可能な活動
5階	集団OT室	大型スクリーンでの映画鑑賞/バレーボール・卓球などのスポーツ
	OT室 1	籐細工、エコクラフトなど
	OT室 2	ビーズ手芸、書道、ぬり絵など / PCコーナーで操作練習・情報検索
	OT室 3	調理や電子ピアノ・ギターなどの演奏/小グループでの学習プログラム
1階	多目的ルーム	手芸やぬり絵など、テーブルを使う個人作業ができるスペース
	OT室 1	手芸、ストレッチ・ヨガ・リラクゼーションなど、床で行う運動
	OT室 2	準備中 (身体機能訓練ができるよう整備する予定)
	カンファレンスルーム3	学習プログラム / 小グループでの話し合い・交流会

## 【 学習プログラムの紹介 】

★New Step プログラム : 作業療法士・看護スタッフ・薬剤師・心理士・精神保健福祉士が支援します

●New Step : 生活改善に向けての第一歩 / 計5回のコース(水曜日・木曜日) \*ほぼ隔月で開催

当院での治療で処方される薬(向精神薬)の作用や服用の仕方について小グループで学習します。

●疾患の理解 : 病気・症状を知る第一歩 / 月1回

統合失調症や双極性障害の特徴的な症状と治療について学習します。

●リカバリー支援 : 自分の夢への第一歩 / 月1回

退院後の生活について小グループで話し合い、再発予防・ストレスケア・社会資源の活用について学習します。

★病棟SMA P (SMAP: Self-Monitoring Assistance Program) : 計8回のコース(月曜日)

ストレスの解消方法を知りたい方、認知行動療法に関心のある方のためのプログラムです。作業療法士、心理士、看護スタッフが学習を支援します。

★健康教室 : 計6回のコース(水曜日・木曜日) \*7月と10月に開催

健康的な身体になるために、簡単なクイズなどを通して学習をすすめて行きます。実際に低カロリー料理を作ったり、DVDを観ながらダイエットに効果的な運動なども行います。作業療法士、管理栄養士、心理士が学習を支援します。